

ヘスペリジナーゼ

1. 食品添加物名

ヘスペリジナーゼ(Hesperidinase)

2. 基原・製法・本質

糸状菌(*Aspergillus, Penicillium decumbens*)の培養液より、冷時～室温時水で抽出し、冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。

3. 主な用途

酵素

4. 安全性試験成績の概要

(1) 単回投与試験

ヘスペリジナーゼ(ヘスペリジナーゼ活性110unit/g)の急性経口LD₅₀はマウスで40g/kg超、ラットで24g/kg超である¹⁾。

(2) 反復投与/発がん性試験

ヘスペリジナーゼ(ヘスペリジナーゼ活性110unit/g)のddYマウスを用いた混餌(0.4、2、10g/kg)投与による35日間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められない。無毒性量は10g/kgと考えられる¹⁾。

ヘスペリジナーゼ(ヘスペリジナーゼ活性110unit/g)のSDラットを用いた混餌(0.4、2、10g/kg)投与による35日間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められない。無毒性量は10g/kgと考えられる¹⁾。

(3) 変異原性試験

細菌を用いた復帰変異試験の結果は、陰性と判断される²⁾。

(引用文献)

- 1.Hesperidinaseの急性・亜急性毒性試験, 1982, 社内データ(未公表)
- 2.Hesperidinaseの微生物を用いる変異原性試験, 1983, 社内データ(未公表)